

2016年5月11日

～住まいに関する奥さまの決定権について質問～

住まいを建てるときに奥さまの意見が強かったのは「キッチンまわりの機器」54.1%  
住まいを建てたとき「夫に対して不満を持った」32.3%

住まいにおける女性の決定権に関する調査報告

株式会社LIXIL住宅研究所

株式会社LIXIL住宅研究所(本社:東京都江東区/代表取締役社長:今 城幸)は、全国の一戸建て(持ち家)にお住いの既婚女性500名を対象に、住まいにおける女性の決定権について、2016年3月14日から21日にかけてインターネット調査を実施したので、ご報告します。

I. 調査結果の概要

◇住まいの場所や間取り、住宅設備の最終決定をするのは「夫」43.0%

- ・「夫が決めることが多かった」+「どちらかという夫が決めることが多かった」・・・43.0%
- ・「自分が決めることが多かった」+「どちらかという自分が決めることが多かった」・・・36.8%

◇建築先(購入先)は「夫婦で話し合っただけ」52.4%

- ・現在の住まいを建築した会社(購入した会社)は、「夫の意見で建築先(購入先)を決めた」29.3%、「奥さまの意見で建築先(購入先)を決めた」15.3%、「夫婦で話し合っただけで建築先(購入先)を決めた」52.4%

◇奥さまの意見の方が強くなるのは「キッチンまわりの機器やデザイン」54.1%

- ・「キッチンまわりの機器やデザイン」が54.1%。「各部屋のカーテンや壁紙」39.8%。「家の間取り(部屋数、部屋割りなど)」30.1%
- ・「キッチンまわりの機器やデザイン」が54.1%の他、「トイレまわりの機器やデザイン」28.8%、「浴室まわりの機器やデザイン」25.1%など、水まわりの項目が上位

◇奥さまの意見が強くなるのは「家事は主に自分がおこなっているから」45.7%

- ・奥さまの意見が最終決定に大きくかかわった理由は「家事は主に自分がおこなっているから」45.7%、「家にいる時間は自分の方が長いから」29.5%、「自分の意見が妥当であり、夫も納得したから」28.9%

◇住まいを建てたとき「夫に対して不満を持った」32.3%

- ・住まいを建てたとき感じた不満についての質問で、「夫に対して不満を持った」32.3%
- ・「もっと相談に乗ってほしかった(相談しても適当な返事をした)」12.5%、「予算も考えずに理想ばかりを語る(高望みすぎる)」8.0%

◇住まいを建てる後押しになった営業マンの対応は「簡潔な説明」31.6%

- ・「分かり易い簡潔な説明をしてもらった」31.6%、「住宅購入に関しての自分の話をきちんと聞いてくれた」26.8%、「住宅購入に関する専門的な提案をもらった」25.1%

【報道関係者のお問合せ先】

(株)LIXIL住宅研究所 広報・宣伝部 担当:千明

電話:03-5626-8251 メール:kazuhiko.chigira@lixil.com

株式会社LIXIL住宅研究所ホームページ/TOP URL:<http://www.lixil-jk.co.jp>

## II. 調査データ

### 1) 住まいの場所や間取り、住宅設備の最終決定をするのは「夫」43.0%

家を建てた(購入した)際に、場所や間取り、住宅設備などを夫婦のどちらが最終的に決めることが多かったか尋ねたところ、「夫」(「夫が決めることが多かった」+「どちらかというとなが夫が決めることが多かった」)と答えた方は43.0%、「妻」(「自分が決めることが多かった」+「どちらかというとなが自分が決めることが多かった」)と答えた方は36.8%になり、住まいの最終決定は夫がすることが多いものの、妻との差は6.2ポイントで、夫が一方向的に決めているわけではないことが分かりました。

Q1. 今の住まいを建てた(購入した)際、場所や間取り、住宅設備などについて、ご夫妻のどちらが最終的に決めることが多かったと思いますか？ (単数回答) n=500

	実数	比率
夫	215	43.0%
夫が決めることが多かった	80	16.0%
どちらかというとなが夫が決めることが多かった	135	27.0%
妻	184	36.8%
自分が決めることが多かった	65	13.0%
どちらかというとなが自分が決めることが多かった	119	23.8%
現在の住まいを建てた(購入した)ときは、まだ結婚していなかった	31	6.2%
現在の住まいは自分たちで建て(購入し)てはいない(親などから譲り受けた)	70	14.0%
全体	500	100.0%

### 2) 建築先(購入先)は「夫婦で話し合って決めた」52.4%

現在の住まいについて、建築先(購入先)を決めた際、夫婦どちらの意見で建築先(購入先)を決めたか質問したところ、「夫の意見で建築先(購入先)を決めた」が29.3%、「奥さまの意見で建築先(購入先)を決めた」が15.3%、「夫婦で話し合って建築先(購入先)を決めた」が52.4%と、半数以上のご夫婦が話し合っけて建てて(購入して)いることが分かりました。

Q2. 現在のお住まいは、夫婦のどちらの意見で建築先(購入先)を決めましたか？ (単数回答) n=399

※ Q1で「現在の住まいを建てた(購入した)ときは、まだ結婚していなかった」「現在の住まいは自分たちで建て(購入し)てはいない(親などから譲り受けた)」のいずれも選ばなかった方に質問

	実数	比率
夫の意見で建築先(購入先)を決めた	117	29.3%
奥さまの意見で建築先(購入先)を決めた	61	15.3%
夫婦で話し合っけて建築先(購入先)を決めた	209	52.4%
その他	12	3.0%
全体	399	100.0%

### 3) 奥さまの意見の方が強くなるのは「キッチンまわりの機器やデザイン」54.1%

住まいを建てた(購入した)ときに奥さまの意見の方が強かったことを尋ねたところ、最も多かったのは「キッチンまわりの機器やデザイン」が54.1%で、次に「各部屋のカーテンや壁紙」で39.8%でした。続く「家の間取り(部屋数、部屋割りなど)」が30.1%、「リビングの機器やインテリア」29.3%、「トイレまわりの機器やデザイン」28.8%は僅差となりました。上位項目の半数を水まわりのものが占め、『水まわりは自分の領域』といった奥さまの意識が強く出た形です。

Q3. 住まいを建てた(購入した)とき、奥さまの意見の方が強かったことをいくつかもお選びください。(複数回答) n=399

※ Q1で「現在の住まいを建てた(購入した)ときは、まだ結婚していなかった」「現在の住まいは自分たちで建て(購入)してはいない(親などから譲り受けた)」のいずれも選ばなかった方に質問

	実数	比率
キッチンまわりの機器やデザイン	216	54.1%
各部屋のカーテンや壁紙	159	39.8%
家の間取り(部屋数、部屋割りなど)	120	30.1%
リビングの機器やインテリア	117	29.3%
トイレまわりの機器やデザイン	115	28.8%
浴室まわりの機器やデザイン	100	25.1%
家の外観(デザイン、カラー、素材など)	99	24.8%
寝室のベッドや寝具	93	23.3%
各部屋の照明設備	90	22.6%
資金計画(住宅ローンの返済額など)	82	20.6%
家(土地)を探した地域	58	14.5%
庭のレイアウトやデザイン、植栽など	56	14.0%
実際に家を建てた(購入した)土地	47	11.8%
フェンス、門扉などのエクステリア	47	11.8%
ハウスメーカーや工務店などの住宅会社	42	10.5%
テレビやオーディオ、パソコンなどの電気製品	33	8.3%
車庫やカーポートなど	28	7.0%
その他	3	0.8%
特になし	60	15.0%
全体	399	100.0%

### 4) 奥さまの意見が強くなるのは「家事は主に自分がおこなっているから」45.7%

奥さまの意見が最終決定にかかわったことがあるという方に、その理由を尋ねたところ、「家事は主に自分がおこなっているから」が45.7%、「家にいる時間は自分の方が長いから」が29.5%、「自分の意見が妥当であり、夫も納得したから」が28.9%になりました。

Q4. 奥さまの意見が最終決定に大きくかかわったのはなぜだと思いますか？（複数回答）

n=339

※ Q1で「現在の住まいを建てた(購入した)ときは、まだ結婚していなかった」「現在の住まいは自分たちで建て(購入)してはいない(親などから譲り受けた)」のいずれも選ばなかった方であり、かつ、Q3で「特にない」を選択しなかった方に質問

	実数	比率
家事は主に自分がおこなっているから	155	45.7%
家にいる時間は自分の方が長いから	100	29.5%
自分の意見が妥当であり、夫も納得したから	98	28.9%
自分のほうが、様々なことを調べて、情報が多かったから	79	23.3%
世帯のやりくりは全て自分が仕切っていたから	78	23.0%
夫は、検討するための十分な時間が取れなかったから	34	10.0%
現在の世帯収入では、限界があるのを知っていたから	25	7.4%
自分の両親にお金を出してもらっているから	24	7.1%
夫が頼りなかったから	19	5.6%
周囲の人(工務店/不動産会社の社員・家族・同僚など)が私の意見に同意したから	16	4.7%
夫に熱意が感じられなかったから	8	2.4%
夫が相談に乗ってくれることが少なかったから	8	2.4%
その他	6	1.8%
全体	339	100.0%

5) 住まいを建てたとき「夫に対して不満を持った」32.3%

住まいを建てた(購入した)ときに感じた夫に対する不満について質問したところ、「夫に対して不満を持った」方は32.3%にのぼることが分かりました。内訳を見ると、上位は「もっと相談に乗ってほしかった(相談しても適当な返事をした)」が12.5%、「予算も考えずに理想ばかりを語る(高望みすぎる)」が8.0%でした。

Q5. 住まいを建てた(購入した)とき、夫に対してどのような不満を持ちましたか？

(複数回答) n=399

※ Q1で「現在の住まいを建てた(購入した)ときは、まだ結婚していなかった」「現在の住まいは自分たちで建て(購入)してはいない(親などから譲り受けた)」のいずれも選ばなかった方に質問

	実数	比率
夫に対して不満を持った	129	32.3%
もっと相談に乗ってほしかった(相談しても適当な返事をした)	50	12.5%
予算も考えずに理想ばかりを語る(高望みすぎる)	32	8.0%
相談ではなく、自分の意見ばかりを押し付けてきた	27	6.8%
自分がいろいろ調べたのに、じっくり検討してくれなかった	18	4.5%
自分で決定しないで、後から文句を言ってきた	17	4.3%
資金の出所を持ち出して自分の意見を通そうとしてきた	17	4.3%
その他	3	0.8%
特に不満は持たなかった	270	67.7%
全体	399	100.0%

## 6) 住まいを建てる後押しになった営業マンの対応は「簡潔な説明」31.6%

住まいを建てた(購入した)ときに、建てること(購入)を決定する後押しになった営業マンの対応は何か質問したところ、「分かり易い簡潔な説明をしてもらった」が31.6%、「住宅購入に関しての自分の話をきちんと聴いてくれた」が26.8%、「住宅購入に関する専門的な提案をもらった」が25.1%で上位に入りました。

Q6. 住まいを建てた(購入した)ときに、検討したハウスメーカー、工務店、不動産会社などの営業マンの対応の内、奥さまにとって、どのようなことが建てること(購入)を決定する後押しになったと思いますか？(複数回答) n=399

※ Q1で「現在の住まいを建てた(購入した)ときは、まだ結婚していなかった」「現在の住まいは自分たちで建て(購入)してはいない(親などから譲り受けた)」のいずれも選ばなかった方に質問

	実数	比率
分かり易い簡潔な説明をもらった	126	31.6%
住宅購入に関しての自分の話をきちんと聴いてくれた	107	26.8%
住宅購入に関する専門的な提案をもらった	100	25.1%
詳細かつ専門的な情報を幅広く提供してくれた	90	22.6%
メリットだけでなく、デメリットも説明してくれた	79	19.8%
自分の知りたい情報を汲みとって、その部分だけ説明してくれた	64	16.0%
その他	31	7.8%
全体	399	100.0%

## Ⅲ. 調査概要

・対象者 一戸建て(持ち家)にお住いの既婚女性

30代	40代	50代	60代	全体
125	125	125	125	500

・調査地域

北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方	全体
28	32	155	96	102	31	15	41	500
5.6%	6.4%	31.0%	19.2%	20.4%	6.2%	3.0%	8.2%	100.0%

・調査時期 2016年3月14日から3月21日

・調査方法 インターネットを通じてのWEB調査

## (参考)

### 夫婦がそれぞれ満足する住まいを建てるためには？

今回の調査では、およそ7割の方は住まい購入時に夫への不満がない、との結果となりました。多くの方は、夫婦でコミュニケーションを取りながら良いお住まいを見つけられたものと思います。しかし、3割の方は、住まいを建てた(購入した)ときに夫への不満を持ったとのこと。その中で最も多かったのは「もっと相談に乗ってほしかった」でした。

住まいにおいては、立地、建物(間取り、仕様、設備・・・)、予算など決めなければならないことがたくさんあります。特に注文住宅は、オーダーメイドですので、お客様は多くの選択・決断が必要です。

また、家は建てるのが目的ではなく、その後の暮らしを豊かにするための手段です。これから将来に向かって家族とどのような暮らしをしていきたいか、そのためにどのような間取りにした方が良いか、などきちんと確認しておかないと将来不満が出てくることでしょう。

「住まい」を検討する際は、夫は妻の話に耳を傾け、二人でしっかり話し合うことが重要です。

一方、今回の調査で、住まいを建てた(購入した)ときに奥さまの意見の方が強かったこととして、「家の間取り(部屋数、部屋割りなど)」や「キッチン、トイレ、洗面などの水まわりに項目」が上位に入りました。そこで、奥さま目線の間取りとはどのようなものか、これまでに積み上げてきた実績を基に、当社の女性開発メンバーが、奥さまのために考えた住まい提案の一例を紹介します。住まいを建てるときは是非お二人で相談し、より良い住まいにしてください。

#### EX. 1 らくらくお買いもの動線/お帰りどろんこ動線



#### Point

- 帰ってきたらすぐに手を洗えます。
- コートなどの上着をかけて室内へ入れます。
- 子どもたちが服を汚して帰ってきても、リビングを通らず、そのまま洗濯・浴室へ行けます。

#### EX. 2 ママのわくわくワークスペース

##### Point

- 家事を集中してこなせるワークスペースです。
- 取り外しの出来る物干しがあり、室内物干しも可能。
- アイロンがけカウンターには洗面を設置し、ちょっと水を使いたいときにも便利です。

**室内物干し**  
時間や天気を気にせず、いつでもお洗濯ができます。

**アイロンがけカウンター**  
アイロンがけができる作業カウンター。手洗い付きでちょっと水を使いたい時にも便利です。



両側から使えるどっちからもクローゼット  
ママは各部屋に洗濯物を配る手間が省けるので大助かり！  
子ども達も、お片付けの習慣が自然と身に付きます。

バルコニー わくわくワークスペース

